

笑顔あふれるまちへ

活力あるまちづくりを

特集 マチの予算と仕事

安全で安心なまちへ

平成22年度 香南市当初予算

問い合わせ:財政課 ☎ 57-8502

予算は、香南市の家計簿です

4月1日から翌年3月31日までの1年間に、香南市にいくらお金が入ってくるか、そしてそのお金をどんなことに使うのか、年間計画を立てたものが「予算」です。

家庭に例えると、1年分の家計簿のようなもの。

例えば、皆さんの家庭でも、給料などの収入から、食費や光熱水費などを支払っています。この給料などが市の「歳入」、食費や光熱水費が「歳出」に当たります。市も家庭も考え方は同じです。

限られた予算の中で何に重点を置き有効な施策を図るのか。市の家計簿「予算」はどのようなになっているのかお知らせします。

22年度に重点的に取り組む施策

3月3日から16日まで開催された定例議会で、市長が示した22年度の予算の柱、重点施策を紹介します。

教育環境の整備・充実

0歳から15歳までを通した子どもの育成と家庭への支援、安心安全な施設への改修事業など

22年度は、香南市すべての保育所、幼稚園、小中学校が緊密に連携し0歳から15歳までの15年間を通して、子どもたちの健やかな成長を図ると共に、家庭・教育現場・行政が一体となった教育課題の解決を目指します。放課後子どもプラン推進事業を継続すると共に、保育所、幼稚園への子育て支援相談員や、新たに学校の実態にに応じて学習支援員等を配置し、個別支援を一層手厚くすることで教育力向上を目指します。また施設整備では、佐古小児童クラブ施設整備事業などの整備を行います。

合併新市の一体性を強化する道路交通網の整備

高規格道路のアクセス道や橋梁改修市道の整備などを行います

18年度から20年度まで32億6,600万円の整備を行ってきましたが、市の道路網整備はまだまだ行き届いている状況ではありません。22年度も継続して高規格道路関連周辺整備や市道の整備、修繕の必要な橋の改修工事などを行っていきます。

南海地震対策をはじめとする防災体制の整備強化

津波浸水地域の避難地確保教育施設の耐震補強を優先的にを行います

住民の人命と財産を守るための木造住宅の耐震補強補助金をはじめ富家地区の防災コミュニティセンター整備。また、教育施設の安全確保に重点を置き、子どもたちが安心して、楽しめる、学べる、心よりどころになる施設として耐震補強、ガラスの飛散防止、家具等の転倒防止対策などの地震対策を行ってきました。

22年度につきましては、消防庁舎建設や岸本地区の防災コミュニティセンター整備、教育施設の耐震補強等を行っていきます。なお学校施設等の耐震整備は23年度末に完了する予定となっています。

産業の発展と雇用拡大を図る事業展開

雇用対策として国の事業を活用し7千500万円を予算計上しました

香南市地域雇用創造協議会が実施している人材育成を中心とした事業では、本年1月末で48人の方が、研修を受講され新たな雇用が創出されました。また、国の雇用対策「緊急雇用創出事業」や「ふるさと雇用再生事業」では、学校などにおける教育活動や環境美化事業、障害者就労支援相談事業などの事業を実施し、計28人を雇用しました。

しかしながら、本年に入り2つの誘致企業が倒産するなど、市にとって非常に厳しい状況となっており、雇用対策は喫緊の課題と認識しています。22年度も引き続き国の事業を活用し、昨年以上の雇用の創出を図れるよう取り組んでいきます。

生産基盤である農業用施設の整備

農業基盤整備を行い、生産性を向上させます

市の基幹産業である農業を取り巻く環境は、農産物価格の低迷、過疎化や高齢化による担い手の減少に加えて、肥料や生産資材の価格上昇により大変厳しい状況にあり、農業基盤整備を行い生産性を向上する必要があります。22年度はレンタルハウス整備事業を継続させ、新規事業として、木質バイオマスエネルギー利用促進事業、横井地区排水機場建設事業など農業基盤整備事業を行い、地域農業の振興・発展を支援していきます。

※厚さ2cmの予算書に1年間に行う事業が盛り込まれています。予算書閲覧は財政課で!

